



権現沢・F3



権現沢・権現滝

が、神社が見つからないので引き返す。なんとすぐ反対方向にあった。地図の位置と若干違うようだ。

(記)

(タイム)

中津川入谷七・四五―権現沢出合九・二五―登山道一

一・一〇

中の沢

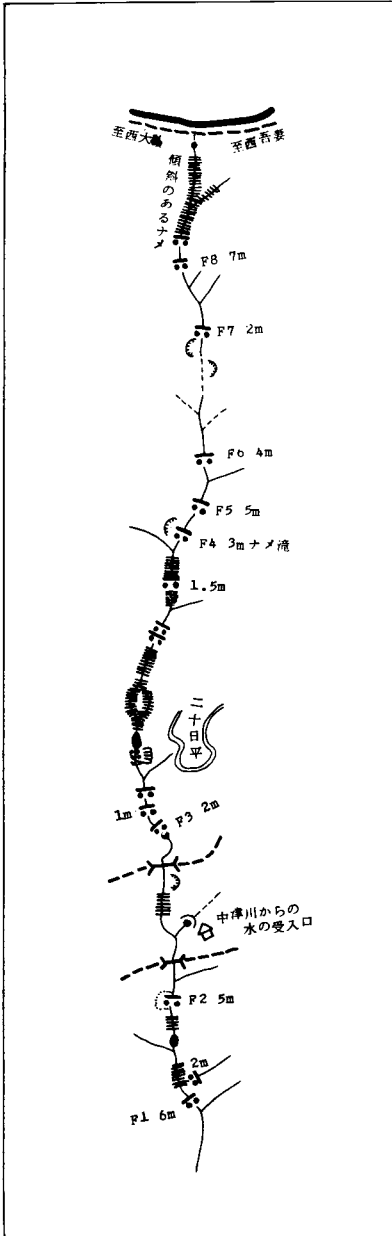
一九七九年七月二十一日

五・一五沢に入る。天気は曇りがちである。今年は梅雨明けが遅い模様。夏の沢登りにしては少々涼しい。沢は水あかが多く少々滑りやすい。標高差が約千メートルあるので、期待しての廻行である。

五・四二F1に出会う。六峠のナメ滝、最初にしてはまあまああつた滝。ナメが断続的に現われる。ナメが多いようだ。六・二七中津川方面に行く登山道(立派な橋)をくぐる。一〇分後中津川から水の受入口へつく。トンネルでぶちぬいて水を流してきている。水量は結構多い。近くに小屋が建っている。

七・一四再び登山道（丸太橋）に出る。まもなくF3と小滝が二つ。左岸から支流が注いでいる。二十日平からのものと思われる。小滝とナメが連続している。途中F4・F5を登る。だいぶ高度をかせいでいる。水量は漸減し、沢がゴロ口状になってきた。一一・二七沢の水が一時伏流となり、三〇四分後に再び水が現われる。先程これより上には水がないと思われたので水筒に水をくんで置いた。失敗。

前方に約七層のF8。これがこの沢最大の滝であり、登りつめた所は約三〇層のナメ。この先はまわりが大半



中の沢（作図： ）

湿原状になっており、花がきれいだ。ツメは草をふみしめ、十二時ジャストに登山道に出る。（記・ ）
 （タイム）
 出合五・一五―中津川からの水受入口六・四〇―沢終了一二・〇〇